

現場環境改善費計上の実施要領

1. 目的

働き方改革や担い手の確保に向けた建設工事現場の環境改善のため、周辺住民の生活環境への配慮や広報活動によるイメージアップ、労働者の作業環境の改善などの実施費として、現場環境改善費を計上する。

2. 対象工事

- ・土木工事標準積算基準書で積算した工事
- ・積算基準書（電気通信・機械編）で積算した工事
- ・水道事業実務必携（全国簡易水道協議会）で積算した工事
- ・農林水産省基準適用工事
- ・下水道用設計標準歩掛表（日本下水道協会）で積算した土木工事

※原則、すべての屋外工事を対象とする。ただし、維持工事等で実施が困難なもの及び効果が期待出来ないものについては、対象外とすることが出来る。

※以下の工事は本要領の対象外とする。

- ・下水道用設計標準歩掛表（日本下水道協会）で積算した機械・電気設備工事
- ・営繕工事（公共建築工事積算基準で積算した工事をいう。）

3. 実施の流れ

（１）発注時

① 積算方法

「土木請負工事における現場環境改善費の積算」（土木工事標準積算基準書 総則編Ⅰ-9-①-1）に基づき行う。

② 施工条件の明示

- ・発注設計図書には、特記仕様書の第8項「施工条件」IX 現場環境改善費 率計上分において5内容を選択し、該当箇所の記号を○で囲むものとする。

＊発注時に5内容が確定できない場合であっても、いずれかを選択し明示する。

- ・積上計上する内容がある場合、該当箇所の記号を○で囲むものとする。

【金沢市土木工事特記仕様書 第8項「施工条件」】

IX 現場環境改善 (5内容) ・率計上分	1 仮設備関係	ア 用水・電力等の供給設備 イ 緑化・花壇 ウ ライトアップ施設 エ 見学路及び椅子の設置 オ 昇降設備の充実 カ 環境負荷の低減
	2 安全関係	ア 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) イ 盗難防止対策(警報機等)
	3 営繕関係	ア 現場事務所の快適化 イ 労働者宿舎の快適化 ウ デザインボックス(交通誘導員待機室) エ 現場休憩所の快適化 オ 健康関連設備及び厚生施設の充実等
	4 地域とのコミュニケーション	ア 完成予想図 イ 工法説明図 ウ 工事工程表 エ デザイン工事看板(各工事PR看板含む) オ 見学会等の開催(イベント等の実施含む) カ 見学所(インフォメーションセンター)の設置 及び管理運営 キ パンフレット・工法説明ビデオ ク 地域対策費等(地域行事等の経費を含む) ケ 社会貢献
	1 個別積上 内容：	費用：

2 避暑・避寒対策費(精算時の設計変更対象で積上)
主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用(エアコン、冷水機、冷蔵庫、製氷機、送風機、日よけテントなど)については、対策の妥当性を確認の上、設計変更となる。
現場管理費に計上される作業員個人の費用と重複がないことを確認し、率分で計上される現場環境改善費の50%を上限とする。

(2) 施工時

① 施工計画への明示

- ・受発注者協議により、現場環境改善の実施内容を施工計画に明記する。

※当初に実施内容が定まらない場合は、施工中でも良い。

② 特記仕様書（条件明示）との関係

- ・受発注者の協議が整い、率計上分費用（請負率を乗じる）と同等以上の実績が見込まれる場合は、5つを下回ることや実施内容が変わっても良い。

※実施内容として、トイレの快適化を実施しても良い。

(3) 完成時

① 変更設計

- ・率に計上されるものについては、設計変更を行わないものとする。ただし、対象金額の変動に伴い現場環境改善費率は変動する。また、積上げ計上分については、内容に変更が生じた場合は設計変更の対象とする。
- ・避暑（熱中症対策）・防寒対策費については、変更契約時に現場管理費として積上げ計上[※]するものとする。

※ 現場環境改善費（率計上分）の50%を上限とする

② 実績の確認

- ・実施の内容及び率計上分費用（請負率を乗じる）と同額以上の実績であることを見積りや写真等で確認し、監督員が保管すること。